

学習課題(中学校2・3年生共通)

【美術】

<学習内容>

- 「札幌の水」及び「自分の区の水」のおいしさが伝わるようなペットボトルのラベルデザインに挑戦しよう。

※身の周りにある様々なペットボトルの商品ラベルを参考にして、オリジナルのラベルのデザインを考えてみましょう。(教科書の参考ページ:【美術2・3】P64~69)

<取り組み方>

- (1) ワークシートの①に、市販のペットボトルの中から、気になるデザインを見つけてラベルをスケッチしてみましょう。また、味やおいしさを伝えるために、ラベルの色やデザインを工夫している点を挙げ、自分なりに分析してみましょう。
- (2) ワークシートの②に、自分が考えたペットボトルのラベルのデザインを考えてみましょう。また、色鉛筆で着色もしましょう。

<学習のヒント>

- ・1年生の時に学んだ「色の授業」や「レタリング」の考え方を参考にし、自分なりに工夫して、味やおいしさが伝わるデザインの工夫をしてみましょう。
(教科書の参考ページ:【美術1】P32~36、P55~57)
- ・札幌や札幌の各区には、それぞれのシンボルになるような建造物や有名な場所、生息する動物など、その土地ならではの特徴があります。また、区のマークやマスコットキャラクターなど、区のイメージを象徴するものを応用してみるのもよいでしょう。
(例えば、札幌であれば「時計台」、手稲区であれば「ていぬ」など)この機会に自分が住んでいる市や区のことを、HPなどで調べてみるといいですね。
- ・アイデアを考えるとき、以下の2つのコンセプトを参考にしてデザインを考えてみましょう。
 - ①「札幌」や「区」らしさの表現…札幌や自分の区をアピールできるデザインとは?
 - ②「安全」や「おいしさ」の表現…安全・清潔で高品質が伝わる色や形、レイアウトとは?

(作品例)

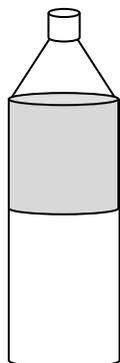


※手稲区役所に許可をもらって例として使用しています。

学習課題ワークシート（中学校2・3年生共通:美術）

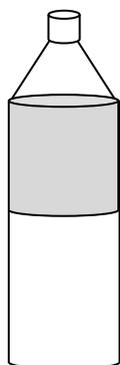
①市販のペットボトルのラベルをスケッチして分析してみよう。

■ラベルのスケッチ



■飲み物の味やおいしさを伝えるために、色やデザインをどのように工夫しているか分析してみよう。

②ペットボトルのラベルのデザインを考えよう。（色鉛筆で着色もしましょう）



デザインで工夫したところをまとめましょう。

年 組 番 氏名